

■ 3号公園（馬瀬地区）再編について

目指すべき将来像 南レク第3号公園(馬瀬地区)の**新たな魅力**を引き出し、主要観光施設として地域外からの人を呼び込み、**交流人口の増加による南予地域の振興**を図るとともに、人気施設へ集中投資することで**持続可能な公園運営**を目指す。

来園者の減少

[H元] 135,682人 [R元] 42,454人

△69% (R元/H元)

▶45年前のコンセプトで時代に合っていない

▶**駐車場不足** (大型バス困難)

施設や展示方法の問題

▶宇和海展望タワーの運休(R元7月) → 耐震化には多額の費用撤去も視野

▶紫電改関連資料等展示方法の問題 → 展示施設が古く、わかりにくい。

公園運営の問題

▶集客力のある施設と弱い施設が混在 → 効率的で持続可能な公園運営に改善の余地

要因分析及び課題・検討事項

課題

来園者の増加に向け、公園の魅力を活かす

現状の分析

内部環境(強み)

- ▶国内唯一の**紫電改実機**がある
 - ・世界にわずか4機の貴重な機体
 - ・一定の集客力 (展示館：約2万人/年)
 - ・紫電改関連のYouTube動画が多数アップ (最大123万回視聴)
- ▶紫電改を引き揚げた**久良湾の眺望**
- ▶紫電改に関する**物語**
 - ・戦争の悲劇だけでなく、感動のドラマがある
 - ラジオドラマ「君がくれた紫のマフラー」

外部環境(機会)

- ▶**高速道路の南予延伸等**
 - ・内海～御荘間の新規事業化
 - ・大洲八幡浜道路の整備
- ▶**周辺観光地との連携**
 - ・四万十周遊客 (120万人/年)
 - ・足摺海洋館(13万人/年)
 - ・足摺岬(8万人/年)
- ▶**「soraかさい」とのコラボ**
 - ・R4.5月兵庫県加西市にオープン
 - ・紫電改の実物大模型を展示(12万人/年目標)

解決策(再編の方向性)

集客力のある紫電改の魅力を活かす

- ▶紫電改展示館を**リニューアル・バージョンアップ**
 - ・展示館と展望施設を一体構造 → 紫電改と久良湾の眺望を一体化
 - ・コスト縮減を図る
- ▶集客力の弱い施設を**スクラップ**
 - ・宇和海展望タワー、こども動物園 → 撤去
 - ・香木園、花木園 → 利用中止

事業イメージ

KPI 南レク公園の年間利用者数 (コロナ前(H30年度:36.9万人)の3%増を目指す)

現状値 21.5万人 (R3年度)

目標値 38.1万人 (R8年度)

コンセプト

紫電改と久良湾(紫電改の発見場所)の眺望をセットに **恒久平和の大切さを伝える公園 (平和学習の場を提供)**

- ▶紫電改と久良湾(発見場所)の眺望をセットに戦史の理解を深める。
- ▶**デジタルコンテンツ**による映像資料の整備、展示設備の更新
 - 記録映像、引き揚げられた部品、「紫のマフラー」の物語等の関連資料をわかりやすく
- ▶**駐車場及びアクセス道路(仮設道路兼用)の整備**
 - 大型バス(観光客、修学旅行等)に対応
 - [大型] 3台 [乗用車] 22台

ターゲット

- ・平和を学ぶ子ども(小・中・高校生)
- ・戦史(紫電改)に興味がある人
- ・観光客

事業概要

【事業期間】 令和4年度～令和10年度
※新紫電改展示館R8年度完成

南レク第3号公園（馬瀬地区）事業計画

内容	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
展望タワー	設計	仮設道路				解体	
新紫電改展示館		設計	建設	解体	外構		
周辺整備							周辺整備

新紫電改展示館 イメージパース

(建築住宅課営繕室作成)

紫電改展示館リニューアル基本方針

2023年3月

愛媛県 土木部

道路都市局 都市整備課

1. 南予レクリエーション都市公園について

南予レクリエーション都市公園（以下、「南レク公園」という。）は、昭和 47 年度に事業着手し、多種多様で幅広い世代のレクリエーションに対応できる都市公園として、宇和島市と愛南町内で、6 箇所 208.6ha の公園を開設している。

現状では、開園から 50 年近くが経過し、余暇の過ごし方やニーズの多様化など、南レク公園をとりまく社会情勢は大きく変化しており、公園全体のあり方を検討する必要性が生じている。

2. 南レク第 3 号公園（馬瀬地区）について

(1) 現状施設と課題

南レク公園のうち「第 3 号公園(馬瀬地区)」は、昭和 53 年に愛媛県愛南町御荘平城で開設された公園であり、施設は以下のとおりである。

宇和海展望タワー	S53.7 供用	回転昇降式観覧展望塔 107.5m	R 元.7.9 休止
紫電改展示館	S55.7 供用	延床面積約 360m ² 紫電改を展示	
こども動物園	S53.7 供用	フラミンゴ、白クジャクなどを飼育	
花木園	S58.4 供用	15.2ha	
香木園	S60.4 供用	4.54ha	

現在、「宇和海展望タワー」は耐震不足により運休している。また「紫電改展示館」は耐震対策が必要な上、展示後長期間が経過し、貴重な展示資料の保存状態に課題がある。さらに、「こども動物園」や「花木園・香木園」の維持管理など、効率的で持続可能な公園運営にも課題がある。

(2) 再編方針について

第 3 号公園(馬瀬地区)は、現状の課題を解決し新たな魅力の向上を図るなど、来園者を増加させるため、再編に取り組む方針である。

この公園の強みは、世界にわずか 4 機しかなく、国内に唯一現存する貴重な紫電改の実機を展示していることであり、この紫電改には一定の集客力がある。このため、「紫電改」の魅力を活かした公園として、紫電改及び関連資料の展示と久良湾(紫電改の発見場所)の眺望をセットに、恒久平和の大切さを伝える公園に再編し、愛南地域の主要観光施設として定着させるとともに、平和学習の場として整備する。

紫電改展示館 年間来園者数(目標) 40,000 人

(新たな 3 号公園のコンセプト)

恒久平和の大切さを伝える公園として、平和学習の場を提供

3. 紫電改展示館のリニューアル

(1) 紫電改展示館の概要

(ア) 経緯

「紫電改展示館」に保存している紫電改の実機は、昭和 53 年 11 月に、愛南町久良湾の海底でダイバーにより発見され、翌 54 年 7 月、34 年振りに地上へと引き揚げられた。機体は、原型をとどめていたものの、随所に破損が見受けられたため、一部補修・防錆塗装を施す必要があり、施工は、紫電改を製作した新明和工業株式会社(旧川西航空)が行った。昭和 55 年 7 月に「紫電改展示館」を第 3 号公園(馬瀬地区)に建設し恒久平和を願い終焉の地「久良湾」に機首を向けて機体を保存している。

(イ) 位置

愛媛県南宇和郡愛南町久良 1060 番 ほか

(ウ) 建物概要

- ・昭和 55 年 7 月竣工
- ・建築面積 396.73m²
- ・床面積 364.25m²
- ・鉄骨一部 2 階建て

(エ) 展示資料

別紙 1 のとおり

(2) 現状の課題

- ・展示ケースは、空調管理などが不十分であり、展示資料の劣化が進んでいる。
- ・機体の部品について、資料解説が不十分である。
- ・現展示館には、資料を見る順序が示されておらず、また、テーマ毎、時系列毎に展示されていないため、展示内容の理解が難しい。
- ・展示にほとんど手が加えられておらず、展示自体が古くなっている。
- ・展示物の魅力である「物語」が、十分活かされていない。
- ・展示内容は、常設展示のみであり、何度訪れても内容に変化がない。
- ・展示物について、クリーニング、ナンバーリング、基本情報の表示、保管場所等の整理ができていない。

(3) 新しい紫電改展示館の整備方針

- ▶紫電改と久良湾（紫電改の発見場所）の眺望をセットとして史実の理解を深める。
- ▶近年のデジタル技術を活用した映像資料を整備するとともに、展示設備を更新する。
- ▶駐車場の整備およびアクセス道路の拡幅により、大型バスに対応できる施設とする。

(ア) 施設の整備方針

- ・現展示館と同様に、紫電改実機をメインとした展示館とする。
- ・施設の一部を屋上テラス化するなど展望スペースを持った構造とし、紫電改が引き揚げられた久良湾を望むことのできる施設計画とする。
- ・紫電改および関連資料の展示と久良湾（紫電改の発見場所）の眺望に一体感と臨場感を持たせる。
- ・遠足や修学旅行の選択先として、教育効果の高い見学を提供できるよう、学習やイベント開催スペースとなる会議室(40名程度)を整備する。
- ・大型バスによる来館者の受け入れが可能な施設とする。
- ・都市公園内に設置する施設であることから、周辺の自然環境と調和した建物景観とする。
- ・全館、バリアフリー化された施設とする。
- ・施設内にトイレを整備する。
- ・展示資料の保管場所を設ける。

(イ) 展示の整備方針

- ・「別紙1」の資料を基本とした常設展示とし、理解しやすく、より分かりやすい資料作りに努める。
- ・常設展示にあたっては、過度な演出を避け、展示資料が持つ史実を率直に表現することに努める。
- ・展示設備については、資料の保存環境を維持する性能を確保する。
- ・観光客、小・中・高校生、愛好家をターゲットとした展示の演出を行う
- ・松山海軍基地とのつながりや、地元（愛媛）の人々との物語(「紫のマフラー」等)を活かした展示内容とする。
- ・デジタル映像による資料の可視化を実現し、展示環境と一体となる映像表現とする。
- ・映像の陳腐化を防ぐため、デジタル映像機器は随時更新可能な汎用機器とする。
- ・インバウンド観光客にも対応した多言語に対応した展示とする。
- ・歴史を継承する展示内容とする。




No.	写真	名称等	詳細	寸法W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	現状
1		紫電改	実機	全長 9.34m 主翼 11.99m 高さ 3.96m	
2		入口 動画資料	『紫電改 最高の戦闘機を開発せよ』 9分54秒 『剣部隊6機帰還せず』 12分30秒	—	DVDで上映
3		小学生向け デジタル紙芝居	「あいなんの紫電改」 「紫電改物語」 「紫のマフラー」	—	紫電改引揚げ30周年記念作品 南宇和高校(美術部・放送部)作成 ・DVDで上映
4		レプリカ 7機(数ミリサイズ)	戦闘機のレプリカ(極小)	W 65mm×D 45mm×H 8mm(1個) W 25mm×D 20mm×H 3mm(6個)	
5		レプリカ 18機(数センチサイズ)	戦闘機のレプリカ(極小)	W 50mm×D 36mm×H 12mm	
6		レプリカ 3機(数十センチサイズ)	戦闘機のレプリカ(小)	W 160mm×D 130mm×H 110mm	
7		レプリカ 3機(数十センチサイズ)	戦闘機のレプリカ(小) 疾風、零式21型、二式	W 160mm×D 135mm×H 150mm	
8		レプリカ 4機 (数十センチサイズ)	戦闘機のレプリカ(小) 飛燕、九七式、一式、(?)	W 160mm×D 135mm×H 125mm	
9		レプリカ (数十センチサイズ)	戦闘機のレプリカ(中) 零戦52型	W 340mm×D 290mm×H 115mm	
10		レプリカ (数十センチサイズ)	戦闘機のレプリカ(大) 紫電改	W 500mm×D 395mm×H 280mm	1992 新居浜市 高橋哲朗氏 寄贈
11		レプリカ (数十センチサイズ)	紫電改 海軍戦闘機紫電21型	W 600mm×D 670mm×H 190mm (ケースの大きさ) W 610mm×D 610mm×H 315mm	第343海軍航空隊 剣部隊 生存隊員一同 寄贈
12		予科練教科書	物理学(甲飛・乙飛用) 兵器学	W 320mm×D 220mm×H 12mm	熊本県 西田 義信氏 寄贈
13		元搭乗員サイン入り紫電改外板		W 350mm×D 205mm×H 50mm	
14		紫のマフラー、ハチマキ		(ケースサイズ) W 910mm×D 310mm×H 910mm	H19.6.21 笠井智一氏 寄贈 紫: W 300mm×D 50mm×H 750mm 白: W 240mm×D 50mm×H 800mm ハチ マキ: W 60mm×D 50mm×H 500mm
15		紫のマフラー由来パネル	笠井智一さんの手紙より	W 720mm×D 3mm×H 1000mm	
16		真空ポンプ型	引揚げ機体の一部	W 115mm×D 170mm×H 110mm	
17		発電機 I	引揚げ機体の一部	W 150mm×D 220mm×H 110mm	

No.	写真	名称等	詳細	寸法W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	現状
18		発電機Ⅱ	引揚げ機体の一部	W 140mm×D 320mm×H 140mm	
19		電動燃料ポンプⅡ型	引揚げ機体の一部	W 100mm×D 160mm×H 100mm	
20		燃料ストレーナー	引揚げ機体の一部	W 60mm×D 165mm×H 60mm	
21		手動燃料ポンプ	引揚げ機体の一部	W 245mm×D 190mm×H 130mm	
22		エンジン系スロットルレバー	引揚げ機体の一部	W 460mm×D 520mm×H 160mm	
23		分電器	引揚げ機体の一部	W 170mm×D 420mm×H 160mm	
24		燃料濾過器	引揚げ機体の一部	W 530mm×D 490mm×H 250mm	
25		銅燃料タンク	引揚げ機体の一部	W 1050mm×D 700mm×H 470mm	尾翼下に展示
26		翼内タンク	引揚げ機体の一部	W 1330mm×D 760mm×H 390mm	尾翼下に展示
27		紫電改タンク(3点)	引揚げ機体の一部	W2150mm×D1460mm×H590mm	(30・31番展示風景)
28		空戦フラップ用 管制器用マウン ト	引揚げ機体の一部	W 340mm×D 380mm×H 510mm	尾翼下展示
29		翼燃料タンク	引揚げ機体の一部	W 800mm×D 500mm×H 170mm	尾翼下展示
30		潤滑タンク	引揚げ機体の一部	W 1020mm×D 650mm×H 260mm	尾翼下展示
31		紫電改タンク(3点)	引揚げ機体の一部	W2130mm×D1530mm×H510mm	(37.38.39番展示風景)
32		燃料計発信器	引揚げ機体の一部	W 210mm×D180mm×H 180mm	
33		燃料コック	引揚げ機体の一部	W 580mm×D 490mm×H 70mm	
34		計器	引揚げ機体の一部	W 560mm×D 490mm×H 90mm	

No.	写真	名称等	詳細	寸法W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	現状
35		酸素系統バルブ	引揚げ機体の一部	W 260mm×D 180mm×H 80mm	
36		空戦フラップ発信器	引揚げ機体の一部	W 900mm×D 560mm×H 80mm	
37		一式空三号無線帰投方位測定機用発電機	引揚げ機体の一部	W 210mm×D 130mm×H 100mm	
38		三式空一号無線電話器	引揚げ機体の一部	W 220mm×D 440mm×H 220mm	
39		三式空一号無線電話器	引揚げ機体の一部	W 690mm×D 440mm×H 550mm	
40		電流電圧管制器	引揚げ機体の一部	W 300mm×D 520mm×H 115mm	
41		不凍液注射ポンプ	引揚げ機体の一部	W 60mm×D 120mm×H 550mm	
42		潤滑油・冷却器シャッター開閉ハンドル	引揚げ機体の一部	W 110mm×D 320mm×H 150mm	
43		カウルフラップ作動ロッド	引揚げ機体の一部	W 110mm×D 390mm×H 65mm	
44		バッテリー	引揚げ機体の一部	W 280mm×D 120mm×H 230mm	
45		高圧油濾過器	引揚げ機体の一部	W 170mm×D 360mm×H 180mm	
46		座席支持金具	引揚げ機体の一部	W 210mm×D 160mm×H 110mm	
47		プロペラコントロールピッチ変更バルブ	引揚げ機体の一部	W 220mm×D 120mm×H 180mm	
48		油圧ポンプ	引揚げ機体の一部	W 160mm×D 270mm×H 120mm	
49		油圧調圧弁	引揚げ機体の一部	W 75mm×D 140mm×H 45mm	
50		エンジンスロットル	引揚げ機体の一部	W 250mm×D 170mm×H 120mm	
51		燃料系切換弁 不時放出弁	引揚げ機体の一部	W 100mm×D 580mm×H 65mm	

No.	写真	名称等	詳細	寸法W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	現状
52		座席レール	引揚げ機体の一部	W 170mm×D 560mm×H 90mm (2本)	
53		炭酸ガスボンベ酸素ポンペ	引揚げ機体の一部	W 130mm×D 690mm×H 90mm (7 本)	
54		吹流し曳航索止め金具	引揚げ機体の一部	W 50mm×D 225mm×H 40mm	
55		スイッチ	引揚げ機体の一部	W 300mm×D 220mm×H 190mm	
56		昇降舵腕比変更用油圧筒	引揚げ機体の一部	W 460mm×D 400mm×H 70mm	
57		不凍液タンク	引揚げ機体の一部	W 110mm×D 110mm×H 110mm	
58		燃料積込口金具	引揚げ機体の一部	W 155mm×D 120mm×H 130mm	
59		昇降舵連結金具 昇降舵操作金具 電纜結合ソケット	引揚げ機体の一部	昇降舵連結金具 W 220mm×D 320mm×H 130mm 電纜結合ソケット W 50mm×D 100mm×H 50mm	
60		昇降舵操作金具 脚カバー開閉カバー	引揚げ機体の一部	W 640mm×D 670mm×H 150mm W 200mm×D 210mm×H 260mm	
61		20mm機銃取付 金具の一部	引揚げ機体の一部	W 530mm×D 420mm×H 80mm	
62		20mm機銃取付 金具の一部	引揚げ機体の一部	W 1230mm×D 550mm×H 80mm	
63		主翼外版の一部 (20mm機銃格納部)	引揚げ機体の一部	W 200mm×D 280mm×H70mm	
64		・主翼主桁中央部 上部縁材結合金具 ・補助翼操作ロッド 中間支基金具	引揚げ機体の一部	W 330mm×D 330mm×H 50mm	
65		・20mm機銃用整形カ バー ・主翼主桁補強材 ・主翼作業用孔蓋	引揚げ機体の一部	W 220mm×D 220mm×H 150mm W 130mm×D 320mm×H 55mm W 150mm×D 150mm×H 3mm	
66		主翼主桁中央部 下部縁材結合金 具	引揚げ機体の一部	W 55mm×D 130mm×H 50mm	
67		主翼主桁縁材	引揚げ機体の一部(2部品)	W 270mm×D 520mm×H 50mm	
68		補助翼操作ロッド	引揚げ機体の一部	W 340mm×D 730mm×H 60mm (3 本)	

No.	写真	名称等	詳細	寸法W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	現状
69		フラップ作動筒	引揚げ機体の一部	W 40mm×D 850mm×H 90mm (1 本)	
70		フラップレール	引揚げ機体の一部	W 200mm×D 340mm×H 90mm (2 体)	
71		主桁胴体結合部の 金具の一部	引揚げ機体の一部	W 270mm×D 620mm×H 100mm (2 体)	
72		主翼桁縁材	引揚げ機体の一部	W 160mm×D 670mm×H 80mm (2 本)	
73		脚作動筒	引揚げ機体の一部	W 230mm×D 620mm×H 130mm (2 本)	
74		当時の写真	戦闘機 紫電改A15号機	W 370mm×H 240mm	
75		ジオラマ	松山基地第343海自航空隊 1/72ジオラマ 昭和20年4月10日 松山基地から鹿屋 基地へ進出するために飛び立つ直前 の菅野隊長機と列機	(ケースの大きさ) W920mm×D470mm×H 1540mm	2010年5月 北海道千歳市 伊藤常良 氏 寄贈
76		343航空隊 松山基地ジオラマ	343航空隊松山基地 S20.2月頃当 時 全体	(ケースの大きさ) W3680mm×D1810mm×H1330mm	モデラーズクラブ ZERO ONE FLYING TIGERS CLUB 寄贈 H18.4月 (158～164展示風景)
77		写真	修復された紫電改	W 515mm×H 410mm	
78		写真	紫電改引揚げ作業中	W 430mm×H 600mm	
79		輪島塗 紫電改パネル	輪島塗で製作された紫電改	(額の大きさ) W 630mm×D 520mm	平成22年12月1日 香川県観音寺市 佐藤 寿男氏 寄贈
80		ちばてつや サイン入り色紙	作家「ちばてつや」氏サイン入り色紙 紫電改引揚げ30周年記念として	(額の大きさ) W 385mm×D 410mm	ちばてつや 戦闘漫画「紫電改のタカ」の作者
81		写真	海軍艦上 攻撃機天山12型	W 640mm×H 530mm	雑誌「丸」提供
82		写真	海軍艦上 攻撃機天山13型	W 640mm×H 530mm	雑誌「丸」提供
83		プロペラ 旧海軍艦上攻撃 機 「天山(12型)」	S53.2月 三崎町二名津沖より引揚げ	W3600mm×D1900mm×H4000mm	※土台込み
84		旧海軍艦上攻撃 機 「天山(12型)」説 明	33番の詳細説明パネル	W 650mm×D 20mm×H 540mm	(35番の説明)
85		紫電改 解剖図		W 1205mm×D 30mm×H 920mm	パネル展示

No.	写真	名称等	詳細	寸法W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	現状
86		説明 自動空戦フラップ		—	ラミネート加工された資料
87		説明 空冷星型エンジン 「誉」		—	ラミネート加工された資料
88		説明 空冷星型エンジン 「誉」		—	ラミネート加工された資料
89		説明 紫電改誕生までの経緯1		—	ラミネート加工された資料
90		説明 紫電改誕生までの経緯2		—	ラミネート加工された資料
91		説明 機関銃		—	ラミネート加工された資料
92		開発の流れ 写真	川西航空機株式会社 姫路工場の様子	(額の大きさ) W 420mm×D 20mm×H 300mm	上谷昭夫氏 法兼高政氏 寄贈?
93		紫電改 写真		(額の大きさ) W 410mm×D 20mm×H 360mm	法兼高政氏 富田高信氏 寄贈 香川県 大西清氏 寄贈?
94		紫電21型 コック ピット内計器類		—	ラミネート加工された資料
95		図面(強風)		—	ラミネート加工された資料
96		写真(強風)		—	ラミネート加工された資料
97		写真(紫電)	紫電(紫電改の前身)	—	ラミネート加工された資料
98		写真(紫電)	紫電(紫電改の前身)	—	ラミネート加工された資料
99		図面(紫電)	紫電(紫電改の前身)	—	ラミネート加工された資料
100		写真(紫電改)		—	ラミネート加工された資料
101		図面(紫電改)		—	ラミネート加工された資料
102		感謝状	聯合艦隊司令長官一第343海軍航空隊 昭和20年3月24日 ※剣会第15周年記念謹写(昭和52年7月24日)	(額の大きさ) W 490mm×D 15mm×H 370mm	源田 實氏 謹呈

No.	写真	名称等	詳細	寸法W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	現状
103		写真	元隊員	(額の大きさ) W 275mm×D 15mm×H 380mm	
104		写真紫電改A-19号機	ネパールアビエーションミュージアム展	(額の大きさ) W 320mm×D 15mm×H 230mm	木更津市 今井氏 寄贈
105		紫電改引揚げ作業 写真		(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 550mm	
106		紫電改引揚げ作業 写真		(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 550mm	
107		紫電改引揚げ作業 写真	34年間の空白を物語る 操縦席内部	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
108		紫電改引揚げ作業 写真	両翼内から見つかった20ミリ機銃弾	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
109		紫電改引揚げ作業 写真	操縦席風防に菊花が飾られたまま浮 上した機体	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
110		紫電改引揚げ作業 写真	操縦席に散らばっていた方向舵や計器	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
111		紫電改引揚げ作業 写真	直ちに台船に降ろされた遺品を調べ、 水洗いが行われた	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
112		紫電改引揚げ作業 写真	無事、船越駐車場に陸揚げされた紫電改	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
113		紫電改引揚げ作業 写真	引き揚げられた台船に置かれた紫電改 機体の内部を調査する関係者	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
114		紫電改引揚げ作業 写真	34年ぶり、ほぼ原型のまま浮上した紫 電改	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
115		紫電改引揚げ作業 写真	ほぼ原型を保っている状態で台船に静 かに降ろされようとしている紫電改	(額の大きさ) W 425mm×D 20mm×H 600mm	
116		紫電改引揚げ作業 写真	台船に降ろされた紫電改	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
117		紫電改引揚げ作業 写真	浮上した紫電改は、ほぼ原型 往時の勇姿を見せた	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
118		紫電改引揚げ作業 写真	クレーン船「剣山号」によって引き揚げ られる紫電改	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
119		紫電改引揚げ作業 写真	尾翼部分は各所が破損しており、 網を張って補強し引き揚げられた	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	

No.	写真	名称等	詳細	寸法W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	現状
120		紫電改 海底写真	海底の紫電改	(額の大きさ) W 510mm×D 20mm×H 420mm	愛南町久良 中川氏 寄贈
121		引き揚げ時の写真	空にはヘリ・海にはチャーター船と報道関係者で埋まった現場	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
122		引き揚げ時の写真	姿を見せた紫電改に菊花を投げ浮上を待つ遺族たち	(額の大きさ) W 600mm×D 20mm×H 425mm	
123		写真	量産型 紫電改 第1号機 (昭和飛行機メーカー格納庫内で撮影)	W 320mm×H 240mm	紫電改展示館でしか見られない貴重な一枚
124		ジオラマ	鳴尾飛行場の紫電改 1/144ジオラマ S19. 4春	(ケースの大きさ) W 300mm×D 330mm×H 390mm	
125		紫電改解説パネル	紫電改の詳細	W 1810mm×D 30mm×H 900mm	パネル
126		写真	343剣部隊	—	ラミネート加工された資料
127		写真	本土防衛 隊員たち	—	ラミネート加工された資料
128			「紫電改」は何と呼ばれたか？	—	ラミネート加工された資料
129			名前も最強だった「紫電改」	—	ラミネート加工された資料
130			平和の桜「陽光桜」	—	ラミネート加工された資料
131		絵	新田原基地301飛行隊の 戦闘機パイロットの皆さんより	(額の大きさ) W 620mm×D 20mm×H 660mm	愛媛零戦搭乗員会 寄贈
132		絵	紫電改 豊後水道上空に於ける遊撃線 画人 海法秀一	(額の大きさ) W 60mm×D 900mm×H 770mm	H2.7月 清本勝美氏 寄贈
133		絵「空の忍者」	左 画人 大画清 右 元偵察機「彩雲」	(額の大きさ) 左W 480 mm×D 15mm×H 360mm 右W 380 mm×D 10mm×H 275mm	左 富田高結氏 寄贈 右 杉野富也氏 寄贈
134		紫電改引揚げ作業 写真	クレーンでの作業	W 600mm×H 920mm	
135		個人写真	戦闘701維新隊 初島二郎 22歳	—	豊後水道上空迎撃戦未帰投6機 「選ってきた紫電改」「紫電改の六機」より
136		個人写真	戦闘407天誅組 溝口憲心 21歳	—	豊後水道上空迎撃戦未帰投6機

展示物一覧

(別紙1)

No.	写真	名称等	詳細	寸法W(幅)×D(奥行)×H(高さ)	現状
137		個人写真	戦闘301新選組 今井進 20歳	—	豊後水道上空迎激戦未帰投6機
138		個人写真	戦闘301新選組 武藤金義 29歳	—	豊後水道上空迎激戦未帰投6機
139		個人写真	戦闘301新選組 米田伸也 21歳	—	豊後水道上空迎激戦未帰投6機
140		個人写真	戦闘701維新隊隊長 鴛淵孝 25歳	—	豊後水道上空迎激戦未帰投6機
141		個人写真	偵察機「彩雲」・説明	—	343剣部隊「散りゆく勇者たち」
142		パネル	343空剣部隊年表	—	ラミネート加工された資料
143		パネル	米軍から見た「剣部隊・紫電改」 「還ってきた紫電改」より	—	ラミネート加工された資料
144		書	松山海軍航空隊 甲飛十四期 原田幸作氏書	(額の大きさ) W 930mm × D 30mm × H 460mm	2011.4月 高知市 原田幸作氏 寄贈